(1)

▼提供

写

真

BBBSSYOU!!22#

浴

言えるのです。

諸君は成長過程において、さま

京都市北区小松原南町 TEL (463)3281 (代)

印刷㈱吉川印刷工業所

なる目標に向って闘志を燃やしていることだろう。新聞局では、 数々の思い出を残し、本核を巣立ってゆく彼等は、一人一人新た 校長先生、 今月七日第二十二回洛星高校卒業式が行われた。在校六年間 高Ⅲ担任の先生に投稿していただいたはなむけの言葉

可能性を信じて

田

べてを充たすのではなく、自己を

キリスト教の精神は神が人間に

もっと君たちと語り合いたかった

実に充実した断絶ではなかったか

あの夜のように

もっと君たちと語り合いたかった

関門を通過する際に行われるもの

わたしたちの生涯のうち、主な | 周囲の人々が力を

合わせて乗り切

ねばならなかった。もしくは半分

ぬの刻などという一刻とだけ言わ

には最短の時刻を表わす単位はい

高3C担任

Ξ

弘

に「通過儀礼」というのがありま

います。これ以外にも、卒業生の らせようという願いも込められて だがしかしあれは

たしかに僕の感じた断絶

卒

式

を 迎

え

て

とか。▼時間の単位をみても例外

なしに、現在は短かい。江戸時代

を掲載し、卒業を祝おうと思う。

ます。しかし、本学園では、この 何処でもこれらについて教えてい 等です。権利と義務についても教 しかし、一貫して教えて来たこと 二十七年の間に、洛星の環境に 人間の生命の尊厳、自由、平 常に正しく制御することを学ばな

を体験し、これを乗りこえて主体 的な人格が確立されてくるので 的乳児期から自己確立と、成年期 この時期には、人はいわば生物的 す。この乗りこえようとする努力 時期には、色々の苦しみ、悲しみ ます。しかし同時に、人間は精神一を忘れてはなりません。それは、 する乳幼児、少年期があります。 、と発達がおこなわれます。との一利はすべて与えられた権利として一任は人間の生命の尊厳を忘れた国 若人の生きがいのひとつとも 時の流れに従って成長してい 公間には自分で意識せずに成長 一えてきました。 学校である以上、 神に求めて始めて、 教えの基礎を神に求めていること
|大国になりました。しかし、人間 によって、そうする努力に生き甲 展のために生かすことを学ぶこと 与えられた英知を人間共同体の発 |理解できるのです。そして自分に |民全体にあるのです。これを反省 人間にある権 識を問うことによって、より正し 教的信念のもとで、自分の存在意 ければなりません。その時も、宗 い方向に自分を向けることが出来

公 表 彰 B

三ヶ年皆勤 六ヶ年皆勤 精勤 十六名 十四名

祭合唱でのA君のエネルギッシュ

ん。高

の

クラスで

言えば、

文化

ているの

だと思った

りしていま

出に残ることも少なくありませ

地の大学や就職先で元気に活躍し

な、等と考えたりしています。

おつき合いでしたが、

何かと思い

ういう人たちの事なのです。遠隔世代の人達には流行らない事か

しい現代、合理的なひと回り若い んな風になるのかな、あるいは忙 ているようです。君達もやがてそ で、この種の小さな同窓会を催し

ろうかということを、これからゆ

っくり考えようと思っています。

君達とは直接には二年間の短い

本業式の度に考えるのは、実はそ

った人が僅かながらいるのです。 には、式以来一度も顔を見せなか

いと思います。

録画する缶詰的正月番組の如き感

けですが、これまでの卒業生の中

との卒業式で君達を送り出すわ

かの九期生諸氏も、何人かずつ 会として楽しみにしています。ほ い顔ぶれの揃う、とても大切な機 うが、今では東京その他から懐し 絶か何かの意味があったのでしょ たりします。はじめは「紅白」拒 名と必ず集いを持って吞み明かし

繁雑に追いまくられたことがすぐ

共通一次試験に伴う事務的

思い浮かびます。

これらの こと

何だったんだ

ける身体的なしんどさ、高3のと

2のときは、文化祭、体育祭にお

が実感です。振り

返ってみると高

りなおせばいいのである。 わかっていても、これからまたや

たいと思います。

な力走ぶりは、永く記憶しておき

(いやM君だったかな?)の重厚

もありますが、ひと言申し添えた

ざまな欲求があることを体験し、 私達はす

性を無視した一部の発展は現在公 的繁栄を要みて、その為に働き、 ます。視野をひろげて、日本人と 害を生み出す原因となり、その責 して考えても、戦後の日本は経済 し、その上に立って新しい日本の |兄弟である私達の教えを心にと|クレーやルオーについて 十年です。宗教的人間観のもとで、 す。 為の人権擁護者であって下さい。 と信じています。神のもとで、皆 衝動的行為を避けることが出来る | 受験のことだけでなく 今年は人権宣言からちょうど三一成績や

す。しかし、より高い次元の生き 確立をしなければなりません。 疎外感を克服することです。誰で

|洛星の存在意義のあかしとなって ではないでしょうか。変動する社一す。どうか健康で、若い諸君は、 た、物質面の充実だけに価値をお す。諸君の書いたのもその一つで一来ました。それは、宗教、芸術、 とする積極的な努力は必要です。 生観を持つことは易しいことでは う精神生活の充実に挑戦すること くのでなく、愛、英知、創造とい がいとは、トインビー氏の指摘し も社会人として、個人と組織との一下さい。 ありません。 しかし、 獲得しよう | るように努力し、 生きがいをみい いわれる今日、総合的世界観、人 人間の生きがいは色々ありま の為になるように、巾広く実現す られた英知と健康を少しでも他 一時の流れに従うだけでなく、与え あたえられた可能性の実現課題で 技術なのです。それらを価値ある 化の殆んどが他国から輸入されて一それを許さなかった何か と私は思います。これも、諸君に した。これらを返すべき時が来た一文化祭の近づいたあの夜 ものとして取り入れ、日本化しま 最後に、日本人の現代思想、文 | 君たちと僕に 本業試験もまだ始まってない一月 の言葉を贈ります。おめでとう。 半ばの時点です。いささか年末に 教室で君たちと対峙した僕 この稿を書いておりますのは、 二十二期生の諸君、

業生

の

君

諸君の願う目的、あるいは危険を

もあります。また、門出に際して

気持を持ってくれたらと思いま

すし、と同時に門出を祝うと意味

に達したことを祝う意味もありま

重圧のなかで、ともすれば失いが一え、余裕を持てるようにする。余

ちであったと思うのですが、周囲

の人々との関わりにも目を向ける

我にかえって自分を見なおすのが

裕というのは、心のゆとりだ。

今一番必要なことだ。別に自分が

うかつだったと嘆かなくても、ま

るならば、それは、成長の一段階 多様です。いま、卒業式を例にと

高3D担任

田

中

成

時日の夜、高校時代の友人七、八

はじめて、高校2年、3年と担任

最後に、自分の

ことを少し…

えの自分と今の自分は全く違う事

式を迎えた現在、

「とうとう、こ

終わりだ、だめだと自分ではよく んむずかしくないのである。もう を自覚すればいいのでありべつだ

をしました。そし

て、ここに卒業

こまで来てしまった。」というの

話はかわりますが、私は毎年大

心から御祝

な指揮ぶりや、

体育祭でのJ君

悩みます。この苦悩と戦い努力す 板ばさみになり、その調整の為に 人間として成熟していく可能性も ることも生きがいがあり、そこに

もっと語り合いたかった

mたらずの杉の苗木が、今は四十

認める風習があり、木を大切にし

ドイツや北欧では、木に人格を

しいと思う。

ばらしい並木や森が至るところ見 はぐくみ育て、街にも平野にもす

はなむけの言葉と

雲うごく杉の上

より白鷺の したい。

たり、あるいは二年三年一昔など、 それがなぜ現在は五年一昔と言っ

羽ばたきの音とこに聞とゆる一ちっとも時間の長さは変化せずい

つも同じなのに感覚のみ早くなっ

て来ている。これは、どうしたこ

られる。また、中国でも、山に木

H3A担任

苫

康

を植え治水をはかることが遠い昔

信じて働いているのがこのミッシ |教の活動原理です。この可能性を|未来について ョンであり、これが又私の信念でしっと君たちと 力することです。これがキリスト 信じて、その実現の為に絶えず努 創造的な能力を与えていることを 生きがいについて 人生について 服装のことだけでなく

|め、真の意味で自分の為、他人の|すべての美しいものについて もっと君たちと語り合いたかった 進級や パッハやモーツアルトについて 肩を組んで語り合いたかった

式」、「選階」の祝いなど、よく一ひとりとしてこんなことを願って

卒業式も新しい通過儀礼の例とし 知られています。また、入学式、

> 行や、学校とのお別れの儀式とし います。卒業式を単なる社会の慣

て大切にされています。

夜」、「七五三」の祝い、「成人

げるまでもなく、出生後の「御七

には更に、様々な意味があると思

不幸であったからである。やがて

日の長さでしか時間がわからなく 初め人間は悠長だった。それは、 の半時、これは一時間に当たる。

います。わたしも諸君に関わった

す。縄文時代の「抜歯」の例を挙|諸君や諸君に関わった周囲の人々

それを今、僕は憎む 外にもある何か 僕みずからの内にもあり

年令等によって、その意味合いも

場として大事にして欲しいという

今の世は終わる。▼すべきことは

やく生活態度をかえないとやがて

ゆっくりでもいいから、生活を変

真雛に且つ謙虚に自分を振り返る

ととです。と同時に、受験という

通過儀礼は、その行われる時期

分の人生の節目の

ひとつとして、 のではなく、自

もうそろそろ限界がきている。は

目には見えないが、そんな生活は 無駄なしに生きようとしている。 みている。毎日時間にしばられ、 まの世は逆に人間が時間の支配を ほとんど時間を支配できた。▼い へまをくりかえして時計ができ、

て済ましてしまう

担任 A組担任 B組担任 苫名



D組担任 田中 成彦 ていたものだったが、そのとき一 と、たわいもないことばかり考え かより、「弁当はまだかな」など つ植えた。当時は植林の意義なん



C組担任

山に植林を行なう行事があった。 毎年全校生徒が参加して京都の北 | の先生の自然や人間に対する成る | するこの日本の自然を、今後諸君 | 貴重なという意味である。今昔を まっすぐ立っていられないよう一抑え切れない。そして、あまり上

初代の校長中山先生の発案で

「あア、良かったなア」と、当時

一季に美しい変化をもつ木を基盤に

弘勝

な山の斜面に、杉の苗木を一本ず

手に植えてもいないのに見事に育

う。と同時に、

諸君が亭々とそそり立ち、互に高一こう変えてしまうのである。▼速

杉の苗木のような | 結局時間のへだたりが、物ごとを

に向かってまっすぐに生長してほ|し、時間のたつのも早い。 実際に

心のように、空|さも変わる。現在、乗り物は速い

最後に茂吉先生の歌をしるして一せかせかする世の中でなかった。

少し前なら十年一昔などといって

の手で是非守り育ててほしいと思しれてみると、随分違っている。

った植物の生命にいとほしさを感」さを競いあう北山

願いを改めて知り、懐しい気持を一

私がまだ諸君と同じ年代の頃、 北 Щ 杉

高3B担任 想 一年の風雪にみがかれて立派な北山 富 3 岡 鉄

京都二中(五年制の旧制中学)で「杉の木立になっているのを見ると」この日本の木の文化を、そして四 するべきことと習 にしろ、木造りに依るものが多い から今日まで時の 家屋にしる、 家具にしる、工具 た。 為政者の第一に

感謝の意味でなく、めったにない























おかしい。古代では、





えてみると少し意味が うの意味だが、よく考 今は感謝の意味がふつ ありがたいというと

工一銀行

あの

大変でしたな

一般強は

巨人に

高皿の担任の先生方

は

教師の費・やる気

(天、私生活について)

日何時間ぐらい勉強しますか

な (あたり前か?)

13

とけよ、みんなど

[三、洛星に 不足しているもの

を変えたようです。 転期は中2 およそ半分の人が一度はクラブ

と高1の時が多いみたい。

字軍大作戦

それでも

浴

ある。ところで、ここで、ぼくに もすばらしい意味をもった卒業で

とっての卒業というものの意味を

随 から… るのに、自分にとっての卒業とい

想

長い階段だった。この何時果て一である。これは高〓の人はもちろ 高3C 柿原

ずつ登ってきた。半分位までは何一に、必ず一度は感ずることだろう な小石がたくさんありますよ。拾 れからこの小石を持ってまた新た一きっこない、などという意見も中 **構拾い集めたものだと感じる。と|を前にしては本当の友達なんかで** 夢中で小石を拾っているうちに此「備校化しているという批判を免れ 石を確認して登り出した。そして「えて「ともだち」を挙げよう。予 それからは行先を常に念頭に置い 其れ迄見過してきた小石を拾い始 処へ行くのかも知らず、半ば無意 るとも知れぬ階段を六年間、一段人、読者諸君が高■になったとき **広階段を登り始める。 最後に一にはあるだろう。でも、そんな寂 処まで登ってきた。振り返ると結** 得ない学校生活ではあった。 受験 めてから漸く行先が見えてきた。 ぎた頃から、階段に転がっていた いう風であった。それが半分を過 歩一歩の意味や一つ一つの小のは?という問いかけに、僕は敢 気が付いたら登っていたと 春時代がもう逝った(嗚呼!)。 この6年間で得た一番大切なも 時のたつのは実に早い。花の青 ともだち 高3B 柱本

胸に呼び起こす感慨には、様々な一もない、友達同士、仲間同士では 人との別れ、青春へのピリオド、 ものがあることだろう。恩師や友なかったか。僕の周りには、 「卒業」この二文字が、人々の「さらけ出し合ってきたのは、他で 僕達の卒業 高30 西田 いい奴等がいっぱいいる。 自身だって知らない自分の素質を は、そして、親だって、いや自分 もない安らざと楽しさを感じたの しい人間にはならない方がいい。 たのは、一緒にいる時に、この上 との青春時代の大部分を共有し 気の

卒業にあたって 高 3 B 山口 隆範

い響きに比べ、本音はそれが純粋

建前という言葉の中にある空し

なさんに洛星の六年間についてアの他も様々でしたが、中に「小四

ンケートをとってみました。高二の時新講堂を見て」その美しさに

クラブ 文化祭・体育祭

21 33% ッと一息といった二十二期生のみ」ょう。(受動的すぎるかなく)を

「四、六年間で一番の思い出は」

去る一月、共通一次がすんでホーの者にとってもこんなところでしーションが表われた感があります。

のア

ンケート

に思える。だからこそ悩んだ時、 であればある程説得力を持つよう

たのですが、わりと実感のこもっ

た解答が得られました。

[一、洛星を選んだ理由は?]

以下の後輩諸君の参考に、と思っ一感動して入ったという、美的感覚

を疑うような答がありました。

タブロー

研修旅行

絶望した時に自分の本音を見つめ

つまらない事だろう。そんな時に

本音を見つめようとしてほしい。

大した事じゃないし、そんな事で

特別企画

思い悩むとしたら、それこそ実に

社会人としての巣立ち……。 どれ

すばらしい卒業に憧れを抱いてい」と接し、話し合い、そして自分の 示す標識でしかない。一方では、一動を行なうことにより、多くの人 験までもうあまり日がないことを一れているでしょうか。何らかの活 勉学の上での単なる節であり、受一みなさんはそれに積極的に参加さ一春を力強く生きてゆくために。 くの活動が行なわれていますが、 洛星ではクラブ活動をはじめ多 やってほしい。一歩一歩自分の青 た。エッ、今の本音は何かって? 「アーア、せいせいした」 時には、そいつの本音を理解して て欲しいし、友達が苦しんでいる すごくキザな事を書いてしまっ

事が、これは我々二十三期以下

についてはムヅカシイところで、

か

「自分に甘すざた」というシビア

37%

2%

(よう聞い

満足だったようです。ただし勉強

総じて友人についてはみなさん

いうのが多かったこと。

「
五、いくつかのクラブに入った

李季5% 不明3%

満足67% 不満足25%

満足35% 不満足19% 学園生活に満足したか」

で目をひいたのは中3の研修旅行

わってからがタイヘンだった)とというのと、高2の時の寸劇(終

まずまず15% 不明13%

多くの人が「何となく」とあり

その他

ミッション系だから

8% 37

良い大学に入りたかった2% 何となくあこがれたから3%

うものを考えた場合、非常に味気 ない気持ちにならざるを得ないの うしたものがやがて役に立つと思かろうか。ほんのささいな出来事 なものだと思います。そして、こ一行なえるようになったことではな す。こうして得られた経験等は、 けでなく、とうした活動から得ら 最も充実した時を過ごせるので た上で、自ら進んで取り組むとき く、活動の運営の仕方をよく知っ が、この洛星での六年間に勉強だ 勉強からは得られない非常に貴重

建前と……

尊敬できようとできまいと、別に するのは愚かな事だろう。教師を 方が多い。だからって教師に失望 だが。本音と建前は衝突する事の 「本音」を見つめて生きてほしい。 諸君に言っておきたい事がある。 「建前」に振りまわされるんじゃ

なく、「建前」の中に埋もれている。る。そして僕らとともに次世代を一情ではないでしょうか。どんな事 をして使い分ける。当たり前の話 にかく自分を見つめながら共に前 | 容な心は、この六年間のうちに身 います。確かに勉強も大切ですに対しても他人とは一味違う見識 卒業にあたって、一言だけ後輩|殻にとじこもらず、いろいろな意 教師達は本音と建前を平気な顔|きな事を書きならべてきたが、と 高3A 長尾 宏行 になう原動力を養っておこう。大一でも気づかいなく手伝う態度、ど きな人間になるよう僕は望んでいったよる人間尊重、人間信頼の心 味で知識を広く求め、いわゆる大しを深く受けられたものはカトリッ きたいと思う。後輩諸君―小さな一ろと感慨無量な事と思われます。 をもち、人とは違う自分という存一くもなしの句をもじり「楽しくも

進し続けよう。ではまたいつか。 Good-bye! 二十二期生へ

います。

考えを深めることができるので ただ漫然と参加するのではな 卒業にあたって

うてみる。それはある種の自覚をとうを申し上げます。 とは何だろうか、と自分自身に問 た。この六年間で一番かわったことから日、栄ある卒業式を迎えられ 洛星に学んではや六年が過ぎ H3D 三田 英治

る先輩の皆さんに、心からおめでした。学園祭、体資祭、クリスマス 活通算六年の学園生活はいかがで一会の事、特色ある洛星の学園生活 高校生活三年、洛星での学園生一ろいろな活動、クラブの事、生徒 春の気配がようやく漂いはじめて

タブロー等の行事の他、私達のい と先輩諸兄に教えていただきまし 卒業後、大学に進まれる指され いておられた川嶋淑世先生のご アシジのフランシスコであっ の洗礼を受けられた。洗礼名は 痛手であった。 逝去は、我が校にとって大きな と同じ十二月八日にカトリック れになり、二十六年、開戦の日

先生は昭和四年青森でお生ま

クのスケート部門で、スタータ

ーの助手を努められたこともあ

上げます。

に、先生のご冥福をお祈り申し

京都府で一番良い学校図書館で

設備、貸出数など総合すると、

機能性の良さ、種々の企画、

はないかとよく話し合った。

心から哀悼の意を表わすととも

ここに先生のご逝去に対して

四十七年、札幌冬季オリンピッ 顧問として参加された。また、 始まり、先生も特に大道具等の

当時図書館は現保健部に設置さ 同時に先生は教職に就かれた。

翌年四月、洛星中学校創立と

れ、その後現在の位置に移され

たがその際先生のアイデアが随

とを言われた。ここ

ら見ると随所

44 18% 3 1 11% 4%

と思われます。 中もっとも信頼すべき数字である 4%―これはこのアンケ 参考書ベスト5 5人以上 15% 不明7% 一、数研チャート 二、大学 は 「八、洛星で得た一番大きな物 勉強・学問 精神力 人間関係 先輩・友人 反発を感じる

TV番組ベスト5 帳」集英社版「月刊マーガレ 備考・電々公社の「ひける電 三、川の教科書 の数学三、シケ単・シケ熟 ースワイド640(の山本佳子 の問題集 五、文英堂解明シリ 一、ザ・ベストテンニ、ニュ ト」という答もありました。 四、旺安社 七、ではその他 現

がありました。これはたぶん文系。点においてミッションスクールとんでいる。そして わかります。紙面の都合上割愛し 間分の夜6時~12時の番組がほぼ この間の答を全部書くと、一週 その教育内容は受験校のイメージ サン)ミルパン単世四、 五、磐時代、 本の教育内容は受験校のイメージ てくることにもなる。すなわち主 おわび申し上げます。 ・ ようにみえるか、それはあくまで 徒の立場からすれば当然甘えにつ 欄で、「優勝中3D」の問違い ・ しょうにみえるか、それはあくまで 徒の立場からすれば当然甘えにつ 欄で、「優勝中3D」の問違い ・ しょうにみえるか、それはあくまで 徒の立場からすれば当然甘えにつ 欄で、「優勝中3D」の問違い ・ しょうにみえるか、それはあくまで 徒の立場からすれば当然甘えにつ 欄で、「優勝中3D」、優秀賞中2D」の問違い の教育は生徒を殴ってでも大学へ「レントを無限にのばせる要素をも からはほどとおい。すなわち洛星 る。一見洛星は受験校であるかの一自身の怠慢にもつながる。逆に生 の洛星と受験校としての洛星であ一任、あまやかし、 なわちミッションスクールとしては、指導する立場からすると、放 まざまなことがいわれてきた。 す 的な 教育 とされる。 しかしそれ 洛星の二面性については過去さ しかしここで重大な問題は主体に属していると 体性教育というのは生徒個人のタ

先輩の卒業を祝って

私達洛星に学ぶ者は、いろいろ

創立以来、我が校で教職に就

学校から一つの光が消えた

所に活かされ京都でも有数の学

な活動を続けられ多くの生徒か

その他にも、各方面で精力的

全体の色彩の基調を落ちついた

の掲示板がなつかしい。図書館

ら慕われていた日

嶋先生は、昭

色の注意がくばられている。私

には、こういう小さなことで、か

茶色に置き掲示板には細心の配

校図書館となった。

昭和四十一年にはタブローが

ため帰天された。

享年五十歲。

えって鮮明に先生を思い出す。

和五十四年一月八日、脳盗血の

川嶋先生のご逝去を悼む

た。

れるものも身につけて欲しいと思とに対して洛星という環境が有意境でしょうか。先生から知識を受ってこの方面でも後輩に情報を提供 在を意識しはじめている。とのこ。あり楽しくもなし。」と云う細心は、新しい入試制度の経験者とし 僕は洛星を一つの踏み台としてよ。る体力、学園内での幅広い人間関の後の学園生活での経験や学問の 義なものであると確信している。「ける学業、クラブ活動等で培われ」して欲しいと思います。そしてそ の高いところをめざして進んでゆ |係から得られる友情など、いろい |事など、我々は先輩諸兄のさらに んな事でもつつみ込んでしまう寛 したか。めでたくもあり、めでたの友情の思い出はつきません。 しかし洛星の六年間で先輩方が最一す。街で私達に会われた折、学園 多くの知識を得たいと思っていま していただきたいと思います。 て祝詞をのべさせて頂きます。 ておられる卒業生の皆さんに重ね にこられた折、在学中と同様に話 明るい将来への希望に満ち満ち

につけられたものではないかと思一気をつけ下さい。皆さまの御健闘 をお祈りいたします。 どうか御館康にはくれぐれもお

なんとなく信じたい 業の合い間に、定年 一、二年、仕事や授 26

冊の本を抱えた川嶋先生が、司 午後の暑い陽光が、南側から図 人のはずの閲覧室から、五、六 書館全体に差しこんでいて、無 をして、死にたくな 直すという意味のこ いので、分類をやり いいかげんな仕事 のアイディアは、 に気にもとめなかった。 きして、異様な衝撃を受けた。 生前もらしていたとお宅でお聞 歩でも入って死にたい。」と 現図書館の設計者である先生 専門家の目か

それに他の人になにか役立ち

書室へ戻ってこられた。

室のあちこちに掲っている大小 る。ただ、私から見ると、閲覧 と生かされてい 昨年九月頃であったろうか、 嶋先生を偲んで 後のことや老後のことなども半 弘

他にタブロー、スケート、スキ

図書館の仕事ばかりでなく、

ーなど、とにかく他人の一五〇

パーセント分は働いた人であっ

ば冗談とも言える口調で話し合 っていた二人の間柄なので、別 しかし、告別式後、「図書館に 事をするといった義務感がまっ た。この人には、嫌々ながら仕 たくないのではないかと疑った こともあった。

あった。 出会ったことを、これからの私 持ちをいつも持っていて、なん のためらいもなく、すばやく行 動に移せるうらやましい人でも たいという、あふれるような気

の幸せとしたいと思っている。 今は、稀に見る大きな個性に

過半数が無関心とないです。 っただけになりましたが、洛星ボ一味なものにするのも自分自身であ な問が多く学園生活の表面をかす一分自身なのである。もちろん無意 した。八は答が完全にバラバラに一約をうけないのである。 して評価する」等が多く見られま。性を養うことに対してほとんど制 術と思われます。 回収率が低いとと りましたが、これはアンケートの -イの雰囲気だけでも伝われば幸|る。 そしてそうすることの最大の なりました。全体を通して、貧弱 による数字の魔|想的教育を受けられる環境におか 「思想の形態と」れているのであり、また自ら主体 する甘えである。 敵は環境に対する甘え、自己に対 そして理想を現実にするのは自 しかし少くともわれわれは、理

主体性を養う教育は一般に理想の生活は無意味なものになるから である。 ならない。そうしなければ洛星で に対してきびしさをもたなければ したがってわれわれは常に自己

Lineral

97号洛星新聞の「中学合唱」の /おわびと訂正/

しいては指導者

編集後記

あまり関心なし

まった。ボク知~らない)二番目

ナリストの良心に従い載せてし

か。トップはご覧の通り。(ジャ

ましょう)

3回内 18%

何と

小書

くべきか

書かざるべき

年に何回くらい遅刻しますか

49%(みなさんも見習い

五……18% 28%

×.....4% 35%

で

他人への思いやり

生徒の自覚・協調

が早。洛星ボーイのフラストレ

G下は何人くらいいますか 15回以上9%(ウンみたい)

54

性教育のもつ内容である。

いわればならな。はどうぞ良いお正月をお迎え下さ